

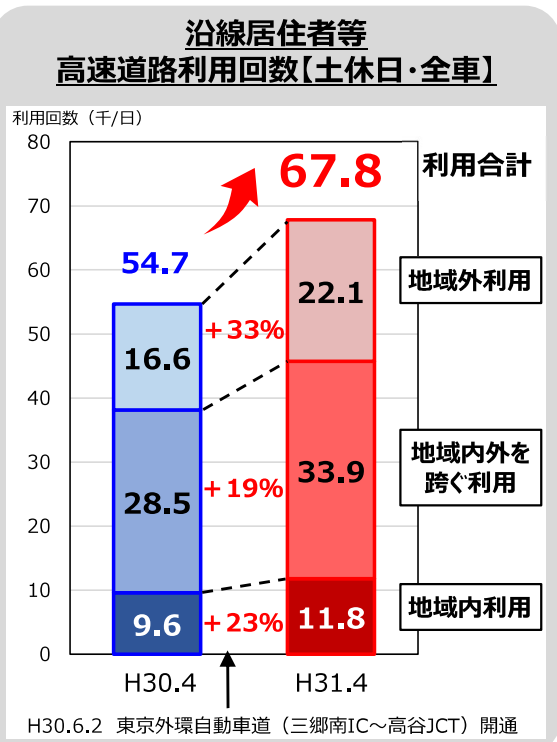
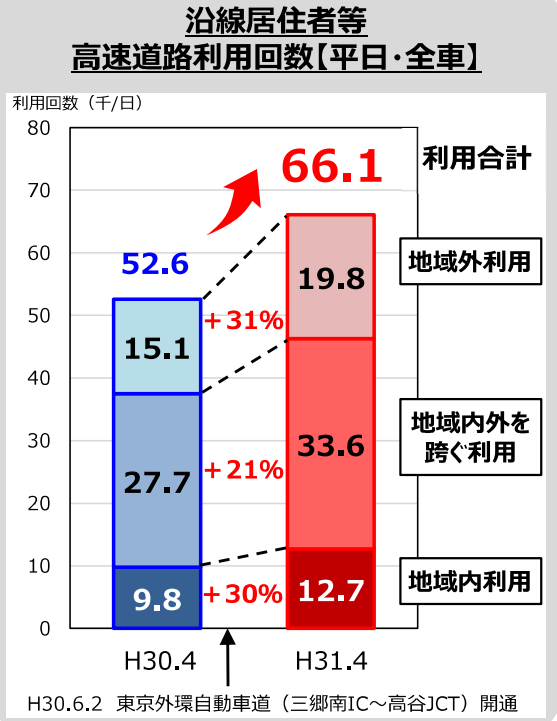
高速道路利用の変化

東京外環自動車道（三郷南IC～高谷JCT）開通により沿線居住者等の
 高速道路利用が約20%～30%増加
 商業施設に行く機会の増加など沿線居住者等の暮らし方の多様化に貢献



【分析方法】
 習志野ナンバーの地域（市川市、浦安市、船橋市、習志野市、鎌ヶ谷市、白井市、八千代市、印西市、栄町）を、分析上、東京外環自動車道（三郷南IC～高谷JCT）の沿線地域と定義
 東京外環自動車道（三郷南IC～高谷JCT）開通前かつ開通後に高速道路を利用した習志野ナンバーの車を対象【n=305,517台】
 習志野ナンバーの地域内のICに加え、習志野ナンバーの地域の端から外側の直近ICを習志野ナンバー沿線IC（以下：沿線IC）と定義

使用データ：ETCログ
 対象車種：全車
 地域内利用：起終点が沿線ICの高速道路利用
 地域内外を跨ぐ利用：起終点のどちらかが沿線ICの高速道路利用
 地域外利用：起終点が沿線IC以外的高速道路利用



市川市在住40代男性の声



東京外環自動車道（三郷南IC～高谷JCT）が開通して、ある程度時間が読めるようになったため、越谷や新三郷にある商業施設に行く機会が増えました。
 出典：利用者WEBアンケート調査結果（R4.10）

船橋市在住60代女性の声



東北自動車道や関越自動車道に行きやすくなり、「旅行に行こう」と思う範囲が広がりました。
 出典：利用者WEBアンケート調査結果（R4.10）